

# 『アンデス文明の魅力を語る』

講演と座談会(比較文明学会九州支部主催) 一般公開(入場無料)

日時=2024年8月17日(土) 13時30分~16時20分(開場=13時)

会場=八幡東生涯学習センター1階講堂 北九州市八幡東区平野一丁目1番1号)



粘土で家畜のアルパカを作る子供たち(クスコの霊峰アウサンガテ登山の拠点パクチャンタ村) 下野浩介氏 提供

◎ 講演 13:30~14:40

「アンデス文明概史—紀元前3000年から紀元1572年まで」松本亮三(東海大学名誉教授)

「ペルー北部の王国の興亡—シカン調査団と東海大学調査団の成果と思い出」横山玲子

(東海大学観光学部教授)

「アンデス・アマゾンの先住民から学んだこと」下野浩介(ジャーナリスト・カメラマン)

◎ 座談会 14:50~16:20(会場からの質疑 15:50~16:20)

司会 服部研二(香蘭女子短期大学名誉教授)

南アメリカのアンデス地方では、古来、特色ある諸文明が栄えてきた。その独特の環境の中で育まれた文明の特色について、インカに先立つシカン文明の遺跡など、現地での調査経験豊かな2人の研究者と、その興味深い調査の取材を行ない、シカンなどの発掘を映像記録した記者カメラマンが、講演と座談会を行なう。調査時のエピソードや現地の人々の生活も織りませ、アンデス文明の特色と魅力を平易に語る。そして、ヨーロッパ文明との接触の問題も考慮しつつ、比較文明的な考察も試みたい。

問い合わせ先 E-MAIL: [hattorikenji@jcom.home.ne.jp](mailto:hattorikenji@jcom.home.ne.jp)

電話 093-681-2349(服部)

後援 北九州市、北九州市教育委員会